

講義名称	子どもの運動と表現	担当教員名	鈴木 まゆみ
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目	単 位	1
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	

授業のキーワード	運動遊び 表現遊び 援助方法 環境
授業の概要	子どもの運動や表現の基礎となる知識・技能について理解し、保育に求められる運動遊び・表現遊びの実践を学習し、様々な子どもの感性・創造性を豊かにするための活動や環境、援助方法等を実践的に学ぶ。
期待される学習成果 (目標)	運動や表現の基礎となる知識・技能を身に付け、子どもの興味や発達に適切な運動遊び・表現遊びについて実践的な内容、援助方法を修得することができる。

#### 授業展開

回	テーマ	内 容
1	運動遊び指導のための基礎理論	からだど運動の発達について理解し、体力・運動能力と運動遊びについて学びます。
2	運動や表現の基礎となるもの	からだへの気づきと人との関わり、触れ合い、動く喜びや楽しさについて学びます。
3	運動遊びの実際1	触れ合い遊び、集団遊びに取り組み指導法を学びます。
4	運動遊びの実際2	からだ遊び、体操に取り組み、指導法を学びます。
5	運動遊びの実際3	鬼遊び、伝承遊び、わらべ歌遊びに取り組み指導法を学びます。
6	運動遊びの実際4	工夫する遊び、身近な素材を使った遊びに取り組み使用教材を製作します。
7	運動遊びの実際5	子どもの年齢に適切な体操をグループで創作します。
8	表現遊び指導のための基礎理論	子どもの身体表現の意義と特徴について学びます。
9	リズム遊びが育むもの	リズムの知覚とリズム能力の発達について理解し、リズムで目覚める体の動きを学びます。
10	表現遊びの実際1	模倣、まねっこ遊び、模倣から始まる表現遊びについて学びます。
11	表現遊びの実際2	動きを創り出す遊びや体験から生まれる動きについて学びます。
12	表現あそびの実際3	「お話」の場面を表現し、子ども達と創る表現遊びについて学びます。
13	表現遊びの実際4	心が躍るリズムダンスやリズムカルな触れ合いダンスについて学びます。
14	表現遊びの実際5	保育の行事に取り入れる運動や表現について学びます。
15	まとめ	授業を総括してまとめ、学期末のレポートを出題します。

定期試験	定期試験は実施しません。
授業時間外学習	シラバスの各テーマについて予習・復習 (60分) をして授業に臨んでください。
評価方法	授業貢献度・課題・提出物50% 期末レポート50%
使用する教科書 (必ず購入してください)	授業時に資料を配布します。
参考文献	宮下 恭子 (著) 『運動あそび・表現あそび 指導方法を身に付ける指導と方法』 (大学図書出版2018) その他の参考文献については適宜伝達します。